

## 『ASEAN 送電・変電システム建設プロジェクト調査団』参加要項

1. テー マ: 『ASEAN 送電・変電システム建設プロジェクト調査団』
2. 期 間: 2014年3月9日(日) ~ 3月14日(金) 6日間
3. 主 催: 一般社団法人 日本技術者連盟(JEF)
4. 協 力: 日本ミャンマー文化経済交流協会
5. 団 長: **鷲見 禎彦 氏** 元日本原子力発電株式会社 代表取締役社長  
元関西電力株式会社 取締役副社長
6. コーディネーター: **森 和義 氏** 一般社団法人日本技術者連盟 理事  
有限会社森テクノマネジメント 代表取締役  
技術士、第1種電気主任技術者



### ■ 略歴

昭和28年3月 京都大学工学部電気工学科卒業  
28年4月 関西電力株式会社入社  
54年6月 同社中央送変電建設事務所長  
60年6月 同社取締役・福井原子力事務所長  
61年6月 同社取締役・原子力管理部担任  
62年6月 同社取締役・原子力管理部・原子力建設部担任  
63年6月 同社常務取締役  
平成 3年6月 同社専務取締役  
5年6月 同社取締役副社長  
11年6月 日本原子力発電株式会社 社長  
16年6月 同社 顧問  
24年6月 同社 社友  
経済産業省 総合エネルギー調査会  
原子力部会 委員 他



### ■ 略歴

昭和40年3月 早稲田大学 理工学部電気工学科卒業  
40年4月 株式会社神戸製鋼所  
東パキスタンチッタゴン製鉄所建設事務所  
48年9月 同社カタール製作所建設部 課長  
63年7月 同社新分野事業部 情報通信システム部長  
平成2年10月 同社機械エンジニアリング事業本部  
計装技術部長  
8年1月 神鋼電機株式会社 技術本部副本部長  
技術部長  
12年1月 有限会社森テクノマネジメント 代表取締役  
21年9月 米国Anaheim大学  
MBA(Sustainability Management)卒業

### 7. 趣 旨:

電力の需要地に対して、発電所立地あるいは発電のエネルギー資源地は、必ずしも一致しないため、その間を繋ぐ送電線あるいは電力ネットワークが必要となります。ASEAN 諸国の中では、水力発電所あるいは石炭火力・天然ガス火力発電所と各国の需要地間を、海を越えて、国を越えて接続することで電力の融通をはかろうとする「ASEAN パワーグリッド(APG)構想」が、実現に向かって動き出しました。

この海底の直流送電を含むプロジェクトは、交直変換を含む変電および長距離の超高圧送電線から構成されますが、信頼性の高い日本の技術や経験が生きるプロジェクトでもあります。

本調査団は、本プロジェクトへの日本の技術と経験をどのように生かして、協力し、ビジネスチャンスとするかを考えるため ASEAN 各国の電力セクターの現状を理解し、幹部との意見交換の機会を提供し、幹部との意見交換の機会を提供し、日本の各社の技術をアピールする機会を提供します。

8. 訪問先及び概要:

①Ministry of Electric Power and Industry, Yangon Region Government,  
The Republic of the Union of Myanmar とのディスカッション

ヤンゴン

②タイ発電公社 (Electricity Generation Authority of Thailand: EGAT)

バンコク

EGAT はエネルギー省の管轄下にある国営企業で、タイ全土の発送電事業を担当している。MEA はバンコク首都圏(隣接するサムトラカーン県とノンタブリ県を含む)を供給エリアとして配電事業を行っている。タイ北部地域 9 県で配電用変電所および連結する送電線を整備することにより、同地域の電力需要の伸びに応じた電力安定供給、供給信頼度向上を図り、もって同地域の地方産業振興および民生安定に寄与することを目的としている。PEA 送電網拡充事業。本事業対象地域の変電所は安定的な稼働率で稼働しており、電圧降下も大幅に改善している。

本事業で建設された変電所(ハンチャット変電所)タイの電力供給体制は、タイ発電公社 (Electricity Generation Authority of Thailand: EGAT)本事業により新設された 11 変電所の、完成時 7 における各対象地域内の変電所稼働。

9. 募集人員:15名 (最少催行人数10名)

10. 参加費:¥800,000 - (消費税込)

11. 通訳者:ベテラン適任者

12. 添乗員:添乗員は全行程同行いたします。

13. ホテル:一人部屋

14. 旅行主催:万達旅運株式会社 ワンダートラベル

15. 総合事務局:株式会社アジア技術移転機構

16. 申込方法:添付申込書に必要事項記入の上、2014年2月14日(金)までにFAX(03-6229-1940)

又は E-mail([info@jef-site.or.jp](mailto:info@jef-site.or.jp))にてお申込み下さい。申込み受付後、旅行主催である万達旅運株式会社 ワンダートラベル)より手続きに関するご連絡をさせていただきます。

16. 代金支払:総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル 5F

Tel +81-3-6229-1946 Fax: +81-3-6229-1940

E-mail: [jdota@jef-site.or.jp](mailto:jdota@jef-site.or.jp) URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

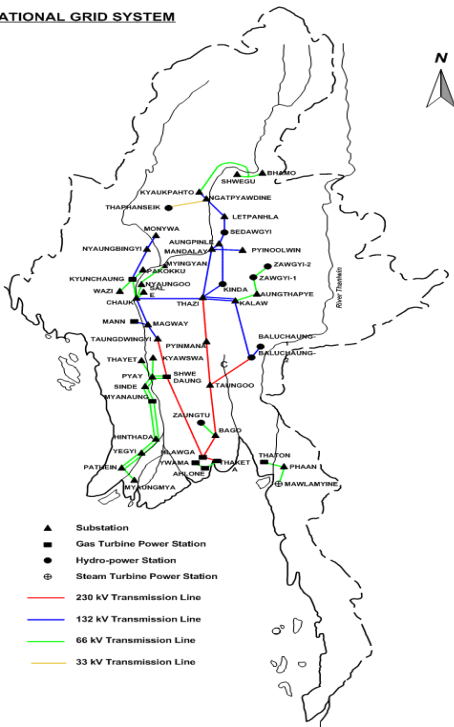
URL: <http://www.wkx21c.org>



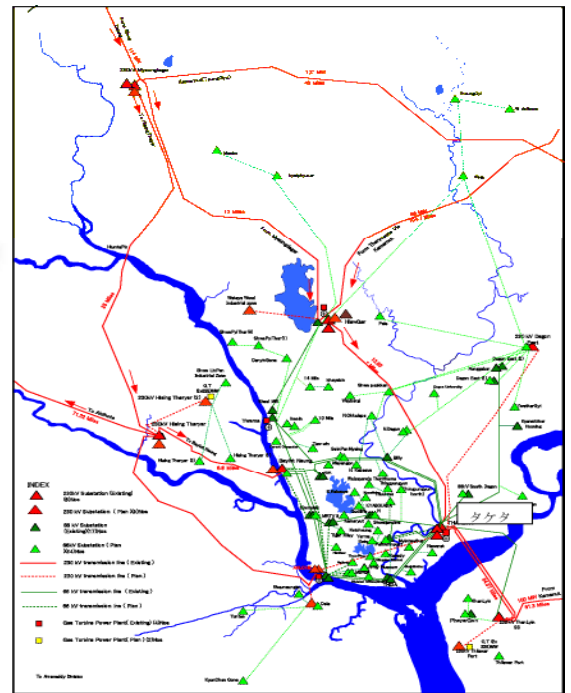
## ミャンマー国の電力事情

停電が日常茶飯事のミャンマーの電力事情は改善されつつありますが、電力供給力の整備は緊急課題であります。ミャンマー国内には水力発電所と天然ガス火力発電所がそれぞれ15ヶ所、石炭火力発電所が1ヶ所あります。これらの発電所の総発電量は約1555メガワットです。安定的な生産体制のために停電対策は必須で、工場には国家発電設備の建設の建設が必要不可欠です。ミャンマー政府は将来的な工業化に備えて発電所建設計画を始め、日本からの協力を求めています。

NATIONAL GRID SYSTEM



## ヤンゴン都市圏



2013年10月4日ヤンゴンにおいて『Myanmar / Japan Joint Forum on Electric Power Development 2013』を開催致しました。フォーラム当日はミャンマーの His Excellency U Nyan Tun U, B.E. (Metallurgy), ASEAN Eng., AFEO Honorary Fellow, Minister of Ministry of Electric Power and Industry, Yangon Region Government, The Republic of the Union of Myanmar 大臣を始め、ミャンマーの政府関係者、団体要人、ミャンマー企業関係者、アセアン諸国進出の日系企業関係者、マスコミ関係者等、総勢 131 名のご来臨賜わり、活発な質疑応答が行なわれました。



# ASEAN 送電・変電システム建設プロジェクト調査団

日 程 表 2014年3月9日(日)～3月14日(金) 6日間

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更する場合がございますので予めご了承下さい。

※飛行機はエコノミークラスを利用します。

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	3/9 (日)	成田発	TG-641	10:45	タイ航空にてバンコクへ	タ ○
		バンコク着		15:45		
		関西発	TG-623	11:00	タイ航空にてバンコクへ	
		バンコク着		15:45		
		バンコク発	TG-305	17:55	バンコクにて合流、乗り継ぎにてヤンゴンへ	ヤンゴン泊
		ヤンゴン着		18:40		
2	3/10 (月)	ヤンゴン滞在			Ministry of Electric Power and Industry, Yangon Region Government, The Republic of the Union of Myanmarとの 相互ディスカッション 及び 現場視察	朝 ○ 昼 ○ タ ○ ヤンゴン泊
3	3/11 (火)	ヤンゴン発 バンコク着	TG-302	14:45 16:40	移動	朝 ○ 昼 ○ タ ○ バンコク泊
4	3/12 (水)	バンコク滞在		午前 午後	タイ発電公社 (Electricity Generation Authority of Thailand: EGAT)との 相互ディスカッション	朝 ○ 昼 ○ タ ○ バンコク泊
5	3/13 (木)	バンコク滞在	専用車		Electricity Generation Authority of Thailand: EGATによる 現場視察	朝 ○ 昼 ○ タ ○
		バンコク発	TG-642	23:55	タイ航空にて帰国の途へ	
		成田着	TG-642	7:35		
6	3/14 (金)	バンコク発	TG-622	23:15	タイ航空にて帰国の途へ	
		関西着	TG-622	6:25		



### 参加費に含まれるもの

#### I) 旅行上の諸費用

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 団長、事務局、添乗員同行費用
- ・ ミャンマーVISA代

#### II) 現地諸機関折衝及び手配料

- ・ ミーティング開催会場費、設営諸費用、現地手配費用
- ・ 打合せ会/現地配布資料代 他
- ・ 現地事前打合せ出張諸費用

#### III) 企画・運営費

- ・ 企画運営費

### 参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

### 取り消し料金

#### ◎旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)

- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで : 費用の50%
- ・ 実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。

◎運営業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

### その他

- ・ 参加費は、2013年11月12日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したもので、ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合もありますので予めご了承下さい。
- ・ 尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意ください。

## 一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人 日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	唐津 一	東海大学 名誉教授
理事	井戸田 勲	特定非営利活動法人 日本プライバシーコンサルタント協会 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人 滋慶学園 総長 Ph.D.
	森 和義	有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門)
	佐藤 正文	社団法人 日・タイ経済協力協会 顧問
監事	田代 空	特定非営利活動法人 日本プライバシープロフェッショナル協会 前会長
	寺村 康佑	元財団法人 日本人事行政研究所 理事長 株式会社サイバープロ 取締役

## 一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

### 『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木 彦彦	前財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆	財団法人経済産業調査会 理事長
	逢坂 國一	社団法人日本電気技術者協会 会長
	荒井 利治	社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長
	宅間 正夫	社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎	財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学)
	小川 順子	東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長
	金氏 顯	社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事
	河原 暲	元社団法人日本原子力学会 会長
	佐川 渉	社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士
	関村 直人	東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士
	津山 雅樹	社団法人日本電機工業会 原子力部長
	富岡 義博	電気事業連合会 原子力部長
	新田 隆司	日本原子力発電株式会社 前常務取締役
	藤井 靖彦	東京工業大学名誉教授 工学博士
	宮野 廣	特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問
	諸葛 宗男	法政大学 客員教授 東京大学公共政策大学院 特任教授

### 『アフリカ・中東技術者フォーラム』委員会

委員長	森 和義	一般社団法人 日本技術者連盟 理事 技術士(電気電子部門、経営工学部門)
委員	畑尾 成道	技術士(建設部門、総合技術監理部門)
	坂倉 省吾	財団法人海外技術者研修協会 理事 工学博士
	島 直	ICTコンサルタント・前GBDe消費者信頼委員会 筆頭シエルパ
	佐藤 正文	前財団法人 海外技術者研修協会 理事 社団法人 日・タイ経済協力協会 専務理事
	小泉 英雄	技術士(電気電子部門)
	鄭 紹良	台湾總統府 科学技術諮問委員会 委員 国家実験研究院 ボードディレクター 無任所大使、工学博士・PE
	井戸田 勲	一般社団法人 日本技術者連盟 専務理事
海外委員	AOTS各国同窓会メンバーよりご依頼中・順不同	
アジア地区	Himpunan Alumni AOTS Indonesia Persatuan Alumni AOTS Malaysia AOTS Vietnam Alumni Society (AVAS) ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)	
中東地区	Association of Iran's Japan Alumni (AIJA)	
アフリカ地区	AOTS Alumni Society, Cameroun (AOTSA-CAMEROUN) AOTS Alumni Society, Egypt AOTS Alumni Association - Ghana AOTS Alumni Society of Tanzania The AOTS Alumni Society of South Africa	

## 総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。